

QI	頭頸部癌に対する根治的化学放射線治療法における治療期間延長患者の割合
分子	分母のうち、総治療期間が54日を超えた患者数
分母	頭頸部癌に対する根治的化学放射線治療法を受けた患者数
根拠	一般的に、頭頸部癌では総治療期間が延長すると治療成績に影響するとされており、治療期間延長は有害事象による休止や年末年始など連休を挟んだスケジュールから生じる。適切な有害事象およびスケジュールの管理を行うことで総治療期間を延長させずに照射を完遂することが治療成績向上につながる。70Gy/35回（通常、休止がなければ47日間）の照射において推奨される総治療期間の明確な定義はないが、JCOG1208では「推奨総治療期間（52日以内）」とされている。JCOG1208がIMRTであること、当院が通常照射であることから、有害事象がIMRTより強くなる可能性を考慮して54日と設定した。
目標	0% 治療成績に影響するため、0%が望ましい。適切な有害事象、スケジュール管理を行い可能な限りゼロを目指す。

